

にし西

■編集

西区役所総務企画課広聴係 〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1

TEL 641-2400 内線224~226 FAX 641-2405

◎西区広報番組「西区情報プラザ」FMラジオ三角山放送局76.2MHz
毎週月曜日午前11時~

◎西区ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/nishi/>

◎区民のページ 2006・2



まちの人



山の手やまべ里親の会会長

渓友愛好会会長

にほんやなぎ たけし
二本柳 健司さん(55)

TEL・FAX 643-0222

(日中は留守番電話対応になります。
ご了承ください。)



■二本柳さん宅の地下室の水槽で育つヤマベの稚魚

西区では連合町内会が中心となつて平成二年から毎年五月に琴似発寒川でヤマベの稚魚の放流が行われています。さらに新たな稚魚の放流を計画しているのが、山の手在住の二本柳健司さんです。渓流釣りが好きな二本柳さんは常々「琴似発寒川を多くの魚がすむ本来の環境に戻したい」と考えていました。それは近所の川で泳いだり、柳や竹に糸を付けた釣りざおで魚を釣ったりして遊んだ楽しい子ども時代の思い出が二本柳さんにあるからかもしれません。今の子どもたちにも川遊びの楽しさを知ってもら

地域ので琴似発寒川の自然を豊かにしたい

中で、自然を大切にしている気持ちが出てきました。また、二十年ほど前に定山溪の渓流でヤマベの稚魚を見つけ、きつと琴似発寒川でもヤマベは育つとも思ったそうです。おとし、ご自身の考えを地域の知り合いを通じて思い切つて山の手南小学校に相談してみました。もともと山の手南小学校は西区唯一のピオトープ(動植物が生息できるように造成された小規模な野外空間)のある学校で、稚魚を育てる水槽もありました。学校からもぜひ協力したいという返事をもらい、昨年十二月には「山の手やまべ里親の会」が発足しました。同会は春に予定している放流まで「里親」となつた子どもたちが家庭で稚魚を育てる活動を始めたばかりです。この稚魚は二本柳さんが提供した受精卵を学校の水槽でふ化したものです。現在は学校を通じて募つた十五世帯が参加同会ではこの活動に賛同する方を募集中です。「初めての取り組みなので失敗も含めて今後の財産になります」と二本柳さん。春に向けて心温まる活動が始まっています。

区民のページで取り上げてほしいテーマなど、皆さんからのご希望やご意見をお寄せください。はがきファクスEメール nishi@city.sapporo.jp 西区総務企画課広聴係(上欄)へ。

*注 広辞苑によると「ヤマベ」は北海道・東北地方の方言で、「ヤマメ」が正しい名称ですが、会の名前が「やまべの会」のため記事中は「ヤマベ」に統一しています。